

# 署名 157,201 筆 東京高裁へ提出 2次提出は 11/8(金)

控訴審で無罪を勝ち取るためさらなるご支援をお願いします

ご支援ありがとうございます 公判前にさらに大きな広がりをも！

8月30日(金)、あずみの里から見送りの手振りに送られて大型バスが発車しました。途中合流した人を乗せて30人の大応援団は東京に向かいました。

東京高裁前には120人以上の支援者が詰めかけ、宣伝カーを横付けにして私たちを迎えてくれました。驚きと共に勇気づけられました。さらに驚いたのは署名数の多さです。1審判決(3月25日)後、署名開始は6月末でしたから実質2ヶ月で157,201筆!全国の熱い思いと、控訴審に託す介護の未来を切り開く願いが10数箱に込められていました。

支援者に送られて高裁の1階会議室に向かった要請団は代表20名。署名に託された思いや現場の声、全国の反響など9人が発言し、資料を手渡しました。要請行動の間に行った宣伝とチラシ配布への反応は良かったとのことでした。弁護団による報告集会には150人以上が参加しマスコミも多数取材していました。

控訴審は年内か年明け早々という見方もありますが、これからもみなさんのご協力をお願いします。勝ち取る会会長 小林作榮

《全国から思いの詰まった 157,201 筆》



《第二次 署名提出行動》 日時:11月8日(金)14:30-15:30 場所:東京高等裁判所

★毎月月末集約します。もうひと回り、声を掛け署名の取り組みを広げましょう!!

☆署名用紙・学習パンフまだあります!送付希望の方は、長野県民医連事務局まで

TEL0263-36-1390 FAX0263-33-1229

# 控訴趣意書要旨

1 審判決の「前提事実」すべてにおいて事実誤認がある。事実は K さんには嚥下障害はなかった、提供したドーナッツは気道閉塞させる物質でない、おやつ形態変更は嘔吐対策であったということ。また予見可能性については具体的であるべきで極めて抽象的であり、判例にも違反する。K さんの急変（意識喪失、心肺停止）の原因は窒息ではない。脳梗塞あるいは心疾患ではないかとの合理的疑いが存在する。

## 「介護の未来を守るシンポジウム」

～特養あずみの里裁判長野地裁一審理

有罪判決を受けて～

8月18日、安曇野スイス村「サンモリッツ」大ホールにて、350人を超える参加者でシンポジウムを開催しました。木嶋日出夫弁護士団が基調報告を行い、医師の立場から片倉和彦氏（東京都西多摩町双葉会診療所）、介護職養成学校教員の大輪広美氏（松本医療福祉専門学校）、介護施設管理者で看護師の江森けさ子氏がそれぞれの立場から訴えを行いました。参加者は、「亡くなった家族が訴える民事裁判ではなく、検察による刑事事件裁判であることを理解した」（発言者）「特養は、“生活の場”であり、治療の場でないことを認識しないといけない。片倉氏の『それをやっちゃあ、おしまいよ』という、表現がぴったり！」（茅野市・医師）「明日は、我が身です。おやつを中止した施設もあると聞きました。現場は、萎縮が始まっています」（介護職）など、発言や感想がよせられました。

山口さん、あずみの里への激励をお願いします

無罪を信じます  
がんばりましょ

## 引き続き募金をお願いします

さらに裁判闘争にお金がかかるようになってきます。

今後、裁判闘争にかかる費用として、・弁護士費用 ・新たに証人となってもらふ専門家への相談や依頼 ・署名用紙や学習パンフレット作成などが考えられますが、まだまだ必要となります。個人・団体のみなさんの少しずつの募金が力になります。どうぞよろしくお願いいたします。

振込先： ゆうちよ銀行 00550-1-53636 無罪を勝ち取る会

加入者払込店、加入者払出店：南浅間、店名 059、預金種目 当座、口座番号 0053636

郵便振込み用紙を作成しました。活用をお願いします。

☆こちらから署名ダウンロードできます。 ニュースなども掲載しています

あずみ裁判支援

検索

http://www.mintyo.or.jp/min-iren/trial/



## ～全国支援の動き～

### 奈良

毎日事務所に封筒が届きます。その多くが署名をコピーし、職場にまわして下さったのが伝わってきます。こちらからお渡しできない病院や地域の様々な事業所からも届きました。

### 北海道

全道の36施設から1,232筆の署名が届きました。「山口さんも、施設の職員さんも裁判というそれだけで相当の精神的負担、ストレスを感じていると思いますが、全国には大勢の仲間が居ることを強みにして、耐えて勝ち取ってください」（特養施設長）というメッセージも添えられていました。

### 熊本

街頭署名行動を看護介護委員会中心に行うと「この事故の事は知っている。気になってたけど、そのことについて話す機会がなかった。応援しています。頑張ってください！」と、自ら近寄り署名に協力。

### 福岡

1万3千筆を超える署名集約。老健・特養はじめ病院や県看護協会・県労働組合総連合など民医連内外からも多くの署名が届いています。

### 長野

「地域の事業所を訪問するので、学習パンフレットを送ってください」という電話や、県看護協会地域支部・病院単位での署名が連日届いています。ある障害者団体の合同研修会の場で訴えがあり、集まった署名と募金を届けてくれました。

日経メディカル「記者の眼」でも取り上げられ、9月10月と2回にわたりネット配信しています。介護では異例の刑事告訴として、介護現場へ与える影響を伝えています。施設や職員対応にも警鐘を鳴らしています。